

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様	報告者	議員名 福村 教親
研修会名	第 21 回全国地方議員交流研修会 in 札幌	
日 時	10 月 27 日 13 時 30 分～17 時 30 分 10 月 28 日 9 時～13 時 14 時～16 時	
場 所	北海道札幌市・北海道自治労会館 札幌市北区 ^北 6 条西 7 丁目 5-3	
【研修の成果】・日本の食糧自給の現状と課題を整理し、持続可能な農業の確立。		
<p>具体的施策をもとに国民の食糧自給の確立をテーマに鈴木宣弘氏の研修会。日本の食糧自給率は 40%程度で、主要先進国に比べて低水準である。農産物価の変動が大きく、農業経営の安定性が課題である。都市部と農村部での生産・消費バランスの偏りが大きく見える。農家への所得保障の面から、コメなどの主要農産物の価格変動に対応した保証制度の強化が必要と感じた。また国内需給に応じた価格安定と国家備蓄の見直しの検討が必要である。地域で生産された食材を地域内で消費する地産地消の推進や、環境負荷の少ない農法・省力技術の普及を考えなければならない。国と自治体が連携しながら、農業支援・価格安定・防災面からの食糧備蓄の一体施策を実施することが急務である。</p> <p>消費者も地産地消や国産食材利用を意識しながら、日々の生活に取り入れる意識が大切。農業従事者に関しては、個人経営と法人経営での労働時間や、従事者の平均年齢が大きな問題で収益にも大きな影響がみられる。国の農業予算は補正予算を中心に、依然として予算総額は高水準ではある。土地利用型農業では多額の財政負担が生じており、常に検証が必要である。農業経営の効率化を進め、高米価格に頼らない構造への転換が求められる。政府備蓄米の現在の需要量を前提に、備蓄量を見直す必要があるようである。緊急時には市場に影響を与えない範囲で MA 米を活用するなど、備蓄量の減少に繋げなければならない。食糧自給率・食糧安全保障に関する施策目標として、過度に重視することはない。</p> <p>よって、食糧自給率の向上は、国の安全保障、地域経済、農業の持続性に直結し、地域と国の双方での具体策の実行が急務と感じた。</p>		
<p>※個人経営の従事者数平均・3.51 人に対し法人経営は 17.39 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働時間 889 時間に対し 6.914 時間 ・経営費 34 万円に対し 4200 万円 		
※MA 米とは日本が海外から最低輸入しなければならないコメ。		
伊賀市の農業従事者の減少に伴う跡継ぎ問題への課題提供であり、個人経営者は特に厳しい状況下であり、自治体と共に取り組まなければならない課題である。		
費 用	旅費：62,168 円 研修参加費：15,000 円 合計：77,168 円	

旅 程 明 細 書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会	氏名	福村 教親
用務名(目的・場所)	第21回全国地方議員交流研修会in札幌			
	北海道自治労会館(札幌市北区北6条西7丁目5-3)			
用務従事期間 (時間)	従事 月日	10月 27日	従事 時間	13:30 ~ 17:30
		10月 28日		9:00 ~ 16:00
		月 日		~

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小 計	日当	宿泊料	夕食代	朝食代	
				路程 km	運 賃 円	急行料金 円						
10月27日	伊賀市		関西空港				0	800				
	関西空港	飛行機	新千歳空港	1072.0	23,084		23,084					
	新千歳空港	JR	札幌	46.6	1,230		1,230		9,500	800		
10月28日	札幌	JR	新千歳空港	46.6	1,230	840	2,070	800			800	
	新千歳空港	飛行機	関西空港	1072.0	23,084		23,084					
	関西空港		伊賀市				0					
計							円 49,468	円 1,600	円 9,500	円 800	円 800	
							合計	円 62,168				

※自宅から関西空港までの往復交通費については、政務活動費から支出しない。
 ※取扱料金については、政務活動費から支出しない。

領収書等添付用紙	議員名	福村教親
調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		

領収書

2025年10月7日

伊賀市議会議員

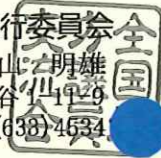
福村 教親 様


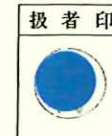
¥ 15000-

(但し 「第21回全国地方議員交流研修会」参加費として)

上記、正に領収致しました。

全国地方議員交流研修会実行委員会
事務局 会計担当 小山 明雄
〒230-0015 横浜市鶴見区寺谷1-19-9
TEL 090(6428)8415 FAX 045(638)4534



領 収 証		No. 07596										
福村 教親 様		2025年10月25日										
金額		¥62,578-										
但し 北海道視察費用として												
上記の金額正に領収いたしました												
<table border="1"> <tr> <td>内 訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>税率 8%</td> <td>税抜金額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消費税等</td> </tr> <tr> <td>税率 10%</td> <td>税抜金額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消費税等</td> </tr> </table>		内 訳		税率 8%	税抜金額		消費税等	税率 10%	税抜金額		消費税等	<p>JTB総合提携販売店 株式会社 三重旅行サービス</p> <p>上野店 三重県伊賀市平野西町71番地 電話:0595-26-0211 団体:0595-21-2917</p> <p>名張店 三重県名張市下比奈知字黒田3100-1 電話:0595-68-5181</p>
内 訳												
税率 8%	税抜金額											
	消費税等											
税率 10%	税抜金額											
	消費税等											
		<p>登 録 番 号 : T6190001008704</p> <p>扱 者 印</p> 										

領収書等添付用紙

議員名

福村教親

調査研究費・**研修費**・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費 (該当項目に〇をつけてください。)

指定席券

札幌 ▶ 新千歳空港

840円

()号

()号車 ()番 ()席

2025. 10. 28

お客様がみえたら席をお降り下さい

【自動改札利用不可】 3898M

札幌車掌所 090発行043

で、重ならないように添付すること。
全面に糊付けせずに裏面が確認できるように

けるのが適当でないものはそのまま添付すること。
用せずに新しい用紙へ添付すること。



ご搭乗券
BOARDING PASS

FUKUMURA/NORICHIKA

様

065

FUKUMURA/NORICHIKA

様 065

2025

JAL2501

10/27

出発時刻
DEPARTURE

09:35

普通席

FROM

OSAKA KANSAI INTERNATIONAL

TO

SAPPORO NEW CHITOSE

出発地
FROM OSAKA KANSAI INTERNATIONAL

到着地
TO SAPPORO NEW CHITOSE

Operation JAL

JAL2501

Y

10/27

搭乗口
GATE

41

搭乗締切時刻

BOARDING CLOSURE TIME

09:25

座席
SEAT

30J

SEAT 30J

SLORE CAB



保安検査場は 20 分前までに通過してください。

PLEASE PASS THE SECURITY CHECK AT LEAST 20 MINUTES IN ADVANCE.

BOARDING GROUP 4

SLORE CAB

出発時刻の10分前までに
搭乗口へお越しにならなかった場合は
ご搭乗いただけません。

ETKT

PLEASE BE AT THE GATE AT LEAST 10 MINUTES
BEFORE DEPARTURE OR YOU WILL NOT BE ABLE TO
BOARD THE AIRCRAFT.

領 取 書 等 添 付 用 紙

議員名

福村教親

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)



ご搭乗案内

Boarding information slip

-----この控えは着地までご携帯ください-----

フクムラ ノリチカ様 065

◆出発DEPARTURE ◆行先DESTINATION

関 西 ⇒ 札 幌

KANSAI INTL NEW CHITOSE

◆便名FLIGHT
JAL 2501

◆搭乗口GATE ◆座席SEAT
41 30J

◆搭乗日DATE ◆運賃種別 FARE TYPE
10/27 SLORE CAB

◆出発時刻 DEP. TIME ◆搭乗締切時刻 Boarding Close Time
09:35 09:25

◆搭乗案内 BOARDING INFORMATION

BOARDING GROUP 4

出発時刻10分前までに搭乗口へ
お越しにならなかった場合はご搭乗いただけません

これは搭乗控えです 搭乗口では保安検査場と同じ
JAL-ICまたは2次元バーコードをかざしてください

Operation JAL



ご搭乗案内

Boarding information slip

-----この控えは着地までご携帯ください-----

フクムラ ノリチカ様 016

◆出発DEPARTURE ◆行先DESTINATION

札 幌 ⇒ 関 西

NEW CHITOSE KANSAI INTL

◆便名FLIGHT
JAL 2506

◆搭乗口GATE ◆座席SEAT
16 29B

◆搭乗日DATE ◆運賃種別 FARE TYPE
10/28 SLORE CAB

◆出発時刻 DEP. TIME ◆搭乗締切時刻 Boarding Close Time
18:00 17:50

◆搭乗案内 BOARDING INFORMATION

BOARDING GROUP 4

出発時刻10分前までに搭乗口へ
お越しにならなかった場合はご搭乗いただけません

***** お知らせ ATTENTION *****
機内で安全かつ快適にお過ごしいただくために
大きな手荷物はカウンターでお預けください
For your own safety and comfort, please check-in
your oversize baggage at check-in counter.
これは搭乗控えです 搭乗口では保安検査場と同じ
JAL-ICまたは2次元バーコードをかざしてください

Operation JAL



APA HOTELS&RESORTS

宿泊証明書

2025年10月28日 (火)

下記のとおりアパホテル<TKP札幌駅北口> EXCELLENTに宿泊したことを証明致します。

記

ご到着日: 2025年10月27日 (月)
ご出発日: 2025年10月28日 (火)
ご滞在泊数: 1泊
代表者名: 福村教親様
ご宿泊人数: 1名

〒001-0010
札幌市北区北10条西3丁目7番地
アパホテル<TKP札幌駅北口>EXCELLENT
TEL: 011-756-7733

宿泊施設印



担当印

10月27日

全体会

13:30 ~ 17:30

12時開場、受付開始

北海道自治労会館

1日目

名刺交換会

18:00 ~

ホテルポールスター札幌

2日目

28日

北海道自治労会館

分科会

09:00 ~ 13:00

8:30開場、受付開始

全体会

14:00 ~ 16:00

3日目

29日

現地フィールドワーク

09:00 ~ 14:00

集合 9:00 北海道自治労会館前

解散 14:00 新千歳空港

第1コース ウポボイ 民族共生象徴空間

(北海道白老町の国立アイヌ民族博物館、民族共生公園など)

第2コース 旧北海道庁(赤れんが庁舎)

および北海道開拓記念館

第21回 全国地方議員交流研修会 in札幌

1日目:10月27日(月)

開会

ご来賓あいさつ (要請中)

札幌市長/連合北海道/中原浩一 (北海道農民連盟委員長、北海道和寒町議会議長)

小島智子 (参議院議員、前三重県議会議員) (予定)

ビデオメッセージ

玉城デニー (沖縄県知事)

「沖縄戦終結から80年

日米地位協定改定への全国の共同を呼びかける」(仮題)

記念講演

鈴木宣弘 (東京大学特任教授、食料自給の確立を求める自治体議員連盟顧問、広範な国民連合代表世話人)

「食の属国から自立の国へー令和のコメ騒動の教訓」(仮題)

特別報告

菅野芳秀 (「令和の百姓一揆」実行委員会代表)

藤英行 (北海道岩内町議会議員、泊原発立地4町村住民連絡協議会代表)

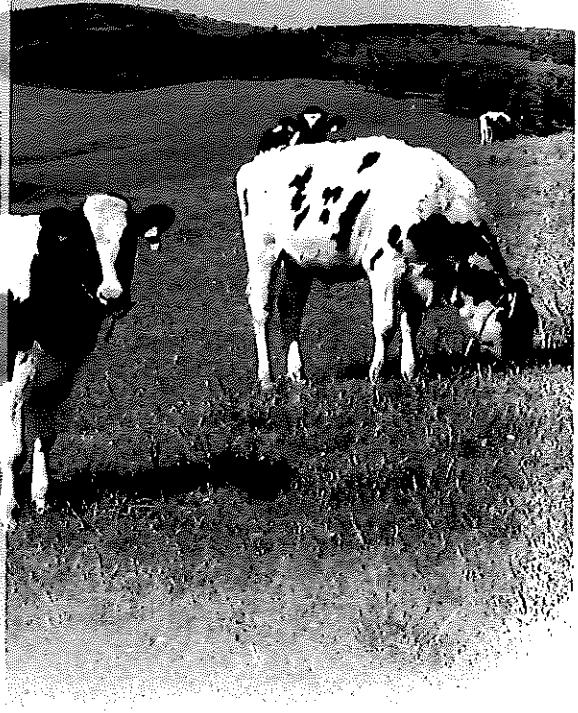
問題提起

被爆80年・被爆者団体 (要請中)

殿平善彦 (笹の墓標強制労働博物館) (要請中)

高良沙哉 (参議院議員、会派「沖縄の風」。憲法学者) (予定)

勝部賢志 (参議院議員、北海道選挙区) (要請中)



参加費

都道府県市区議会議員 15,000円 / 町村議会議員 5,000円 / 一般参加 1,000円 / 大学生・高校生以下 無料
別途希望者のみ 名刺交換会 6,000円 / 2日目の弁当代 1,000円 / 現地フィールドワーク参加費 実費 (5,000円程度)

申込方法

第21回全国地方議員交流研修会 申し込みフォーム

<https://req.qubo.jp/kokuminrengo/form/E12hXg9Q>

上記専用申し込みフォームからお申し込みください。右QRコードからも入れます。

または事務局までご連絡いただければ、郵送にてFAX用申込用紙を送付させていただきます。

⇒ 第1次締め切りは9月30日です。



問合せ

全国地方議員交流研修会実行委員会事務局

自主・平和・民主のための広範な国民連合全国事務局内 〒230-0015 横浜市鶴見区寺谷 1-11-9

電話&FAX 045-633-4534 (担当:小山) 090-6428-8415 Email / giin@kokuminrengo.net

主催:第21回全国地方議員交流研修会実行委員会

共同代表 市橋 修治 (北海道議) 藤本真利子 (和歌山県議) 山内 末子 (沖縄県議)

北海道現地実行委員会事務局長 木葉 淳 (北海道議)



第21回全国地方議員交流研修会

第2分科会「国民の食料自給を確立する」運営について

10月28日(火)9時~13時
北海道自治労会館 5F大ホール

1、分科会の意義、趣旨

・世界的な食料危機、国内農業を軽視し、輸入食料に依存する農政を続けてきた結果、食料自給率は約38%でとても独立国とは言えない状況。国内農業軽視の結果、農家の経営は成り立たず、農地の減少、後継者不足で担い手の高齢化など、崩壊寸前です。

・そうした中で、議員交流研修会では、農業食料問題を一貫して取り組んできました。とくに2023年の長崎での議員交流会では、恒常的な議員のネットワークの呼びかけが行われ、年末から北海道を中心に具体的に準備が始まり、2024年初頭に「食料自給の確立を求める自治体議員連盟」(食料自給議員連盟)が結成されました。

・2024年3月21日、25年ぶりに「食料農業農村基本法」の改正が進む中、食料自給議員連盟は、国会内で、議連メンバーの代表が、『食料・農業・農村基本法』改正に関する政府への要請行動を行いました(食料自給向上や農業者への直接支払い制度など7つの要請項目)。

・2025年2月14日、令和のコメ騒動でコメの高騰など農政への批判が高まる中、食料自給議員連盟は、食料農業農村基本計画に関して国会行動(対政府要請行動、各政党要請行動)を行いました(農水省、文部科学省、国土交通省へ8項目の要請)。

・3月30日には、「令和の百姓一揆」が開催され、食料自給議員連盟も横断幕をかかげ、連帯行動を行いました。以降、「農家に所得補償を」掲げる百姓一揆の動きを支持し、全国活地で取り組みました。

・7月の参議院選挙を前に、参議院選挙候補者に「農業食料政策に関するアンケート」を実施、155人の候補者(自民、公明、立憲、国民民主、共産、れいわ、参政、社民)が回答。中山間地の農地が4割を占めることもあり、「規模に関係なくすべての農家を大事にすべき」が88%。農家への所得補償等について、自公の与党も含めて「賛成」が92%で大多数。農業予算も「増額すべき」が96%と圧倒的などの結果でした。

・令和のコメ騒動をへても、政府の農政は「大規模化」「輸出拡大」「スマート農業」ばかりが強調されています。自給率向上や国民への食料の安定供給のためには、中山間地や小規模農業も含めたすべての農家への支援(所得補償や直接払いなど)などをどう実現していくか問われています。

2、分科会の討議内容

(1) 日本の農政のどこに問題があり、どう変えるべきか、理解を深める(鈴木先生の講演内容「令和の米騒動の教訓——食の属国から自立の国へ」、高橋宏通氏の報告を受けて)

・例えば、コメ政策は、「大規模農家も含めて多くの農家は、60kgあたり2万円~2万5千円の生産者米価が経営継続に必要なだと話している。一方、30年間で国民全体が所得の中央値が150

万円も下がっている中、消費者も高い負担には耐えられない。つまり、消費者が払える米価と生産者にとって必要な米価にギャップが出てきている」、このギャップを埋めるのが政治の役割、国が財政負担し、農家への支援（直接払いや所得補償）を大規模だけでなくすべての農家に、急いで実現することが求められている。

（2）具体的に地方議員が何をすべきか——2つ事例報告から学ぶ

- ・福岡県大牟田市（船原基近市議）の「地域での取り組み——生産者と消費者の連携」
- ・広島県安芸高田市（浅枝久美子市議）の「広島での令和の百姓一揆の取り組み」
- ・ほかにも、学校給食など全国には学ぶべき取り組みがたくさんあります。

（3）今後の活動——「食料自給の確立を求める自治体議員連盟」

・「食料議員連盟」として、過去2回に続いて、議員連盟を拡大強化して、2026年にも対政府行動（農政の要請行動）をめざしたい。具体的にはZOOM会議などで相談。

- ・「令和の百姓一揆」の取り組みは、「食料議員連盟」と共通性があり、今後も連携して取り組む。
- ・農政の転換をめざすためにも「生産者と消費者の相互理解と連携が重要」

※以上の3点について、鈴木先生、高橋宏通氏（令和の百姓一揆事務局長）の助言を受けながら、討議を深め、今後の活動に活かしたい。

3、具体的な運営

- ・座長は、清水敬弘（北海道議）、西聖一（熊本県議）の2人
- ・参加者は約50名（助言者2名、議員45名、一般3名、別紙）

8:30 準備

8:45 開場・受付開始 ※受付は事務局スタッフが行います。

9:00 開会のあいさつと運営の説明（座長） 発言者は最初にお名前を

討論（1）日本の農政のどこに問題があり、どう変えるべきか、理解を深める

9:10~10:20 ——参加者からの助言者への質問、討議（できるだけ多くの発言）

討論（2）具体的に地方議員が何をすべきか——2つ事例報告から学ぶ

10:20~10:35 福岡の報告

10:35~10:55 広島からの報告

<休憩> 10:55~11:05

11:05~12:00 事例報告への質問討議、他の先進的な活動も含めて

討論（3）今後の活動——「食料自給の確立を求める自治体議員連盟」

12:00~12:20 今後の提案、討議

12:20~12:35 助言者2人から発言

12:40~12:50 まとめ——西座長

12:50~会場の原状復帰